

## 市指定文化財<史跡>

とぎ きじょうあと  
戸崎城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市今



今村集落の北背後にある標高101mほどの小山が城跡で、登り口に「土阿弥陀」の坐像が祀られ、鹿島刑部かしまぎょうぶの墓といわれる。鹿島刑部大輔たいふは正平14年(1359)の大保原合戦で菊池武光に従い勲功のあった人物で、この城は鹿島氏代々の居城という。

城跡の周りは雑木林で、北側の裾すそには堀跡らしき地形が50mほど続き、周りを削り取った頂上部は直径12mほどの円形状の平坦地となっており、城跡名を刻んだ石碑が建っている。この丘の形が茶臼ちやうすに似ていることから別名を「茶臼山城」とも呼ばれる。

城跡から見て南に、道路を挟んだ約50mのところ物見に使われたという小山があり、比高差約20mの真下には菊池川の流れを望んでいる。

本丸跡と思える一段高い所から四方に良く展望がきく。城跡と物見の間に弁財天を祀る祠ほこらが建てられている。